

# T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ94号

発行責任者：事務局長 内田 毅

事務局：岡山市中区福泊168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail: utida244@yahoo.co.jp

## 主な内容

2面 コンクール特集

高梁高校・岡山城東高校

3面 おかあさんコーラス全国大会

コンサート情報

4面 雑感（全国大会に思うこと）

事務局通信

## 岡山県合唱コンクール・中国合唱コンクールを終えて

岡山県合唱連盟理事長 小池 芳 弘

この Tutti が皆さんに届くのは、全日本合唱コンクール全国大会が終了している頃だと思います。そこで、今回の大会で特筆すべきことを中心に原稿を進めていきます。

まずは、8月2日の岡山県合唱コンクールの参加数が増えたことです。一昨年、部門編成が大きく改革され、このたびが2年目のコンクールとなり、動向が心配されましたが、過去最高の参加で開催されたことは誠に嬉しい限りです。参加いただいた各団体に対し、心よりお礼申し上げます。今年審査委員長をお願いした兵庫県連理事長の齊田先生には、ここ数十年の間、何回か来岡していただいておりますが、「以前に比べて全体が本当にレベルアップした。」との評をいただきました。

中国合唱コンクールは、9月19日・20日に鳥取県で開催されました。何より岡山県勢の活躍を報告しなければなりません。成績が金賞受賞3団体、うち全国大会出場権を2団体が獲得。そして中国合唱コンクール参加60団体中、総合1位に、3年連続「合唱団こぶ」が選ばれました。

中国支部は、合唱王国の島根県がほとんど上位を独占していた時代が続いていましたが、ここ数年、岡山県勢の活躍を見られ県連としても嬉しい限りです。県立岡山城東高

校合唱部と合唱団こぶの全国大会での結果が楽しみです。

もうひとつ特筆するのは、大職一部門の中での大学ユースの活躍です。近年の大学は、趣味の多様化や大人数での活動をあまり好まない学生の増加、などと言われていますが、中国5県はそれを払拭する流れを感じます。島根大学混声合唱団・鳥取大学混声合唱団・山口大学混声合唱団・くらしき作陽大学合唱団イル・マガツィーノ・広島からは広島大学を中心としたサークルと、5県すべての大学が混声合唱で参加したことです。

以上大きく3点思うことを述べましたが、参加された団体にはコンクール至上主義に陥って「燃え尽き症候群」にならないことを願います。

最後に、故・福永陽一郎氏が語った、旬刊合唱新聞掲載の記事を紹介したいと思います。

～略「自分たちの定期演奏会がどんなに立派だと言っても、それは、誰も見に行かないような山の奥で、立派な枝ぶりを誇る堂々たる大木みたいなもの。」～略

各団体、年間の諸行事で充実した活動を展開されていると思いますが、今一度コンクールへの参加、また、全国レベルの行事への参加を考えてみてください！

## 合唱コンクール

第54回中国コンクールが9月19日(土)、20日(日)の両日、鳥取市のとりぎん文化会館・梨花ホールで開催されました。岡山県連からは12団体が出場し、部門ごとに演奏を競いました。結果は上に理事長が書かれているので割愛します。金賞を受賞された「高梁高校コーラス部」にコメントをいただきました。

第68回全日本合唱コンクール全国大会は中学校・高等学校部門が10月24日(土)、25日(日)の両日、さいたま市のソニックシティ大ホールで開催されました。岡山代表の岡山城東高校は、福島が強豪校に挟まれての演奏でしたが臆することなく堂々と演奏をされました。

城東高校にコメントをいただきました。

今大会では34回大会から連続35回金賞に輝いていた福島県の安積黎明高校(旧安積女子高校)の連続受賞が途切れました。私は成績発表の時には会場を後にしていたので、会場内がどのような反応をしたのか野次馬的興味があります。

やはり伝統校も指導者が変わると同じレベルを維持するのは難しいようですね。

発行に手間取っている間に大職一般部門も終わりました。「こぶ」さんには次号でコメントをいただきます。

部門編成区分	団 体 名		賞
中学	混声	総社市立総社中学校合唱団	銅
	同声	高梁市立高梁中学校合唱部	銅
		総社市立総社東中学校合唱部グリー	銀
高校	A	岡山県立高梁高等学校コーラス部	金
		岡山県立総社高等学校合唱部	銅
	B	岡山県立岡山城東高等学校合唱部	金
大学 職場 一般	大学 1-1	Flügel	銅
		くらしき作陽大学合唱団イル・マガツィーノ	銅
		倉敷少年少女合唱団	銀
	室内	J - d u r	銀
		コーラ・ゆうぶんげん	銀
混声	合唱団こぶ	金	

## 中国大会 念願の金賞受賞

岡山県立高梁高等学校コーラス部 三年 中田早紀

“ゴールド金賞”この言葉を聞いたとき、私は一瞬自分の耳を疑ってしまいました。客席にいた部員たちからも、喜びというよりかは驚き、それも疑いに近かったかもしれませんが、そんな声が聞こえてきました。

このメンバーにしかできない音楽を会場中に響かせたい。そして、このステージを思いっきり楽しみたい。当日の朝、そんな気持ちで会場に向かいました。この日は早朝の練習でもリハーサルでも、みんな調子がよく、比較的良好な状態で最終確認をすることができました。そのため、ほとんどの部員がリラックスして本番を迎えることができたと思います。ステージに立つとよく空回りしてしまう私自身も、この日はあまり緊張することなく、しっかり曲の世界に入って歌いることができました。また、歌っている中で自分たちの声の一つになって会場に響いているのを感じることもでき、とても気持ちよかったです。舞台をおりた後は、みんなが笑顔で「楽しかった!」とっていて、とても達成感がありました。といっても、金賞をいただけるなんて誰も思っていなかったもので、表彰式では驚きのほうが勝ってしまいましたが、その後は、その何倍も何十倍も何百倍もの嬉しさに胸がいっぱいになりました。

こうして全員が納得のいく演奏ができた上に、このような賞をいただくことができたのは、部員全員で頑張ってきたことはもちろん、たくさんの方々への応援があったからこそだと思っています。ありがとうございました。



第54回 中国合唱コンクール 平成27年9月19・20日 とりぎん文化会館 梨花ホール

## 夢にまで見た全国大会

岡山県立岡山城東高校合唱部 部長 三年 河内位織

今年、ついに全国の舞台への切符を手にすることができた。とても長い道のりだった。2年前、中国大会で金賞は受賞したものの、全国大会へは出場できず、昨年は中国大会銀賞。悔しい思いばかりしてきた。しかし今年、遂に全国への切符を手にする事ができた。城東高校は3年ぶり3度目の出場だが、今回の全国大会出場は、以前出場した時とは一味違っていた。私は今回が初めての全国大会だったので、以前どの様なプロセスを経て全国大会への出場権を獲得したのかはわからない。しかし今年、私たちは以前の部活に無かったある物を作り上げることができたと思っている。それは『信頼関係』である。

私は、信頼関係は合唱において不可欠な要素だと思っている。なぜなら、合唱は個人プレイでなく、チームプレイ

だからだ。今年の私たちは、部員全員が一致団結し、努力し続けることができた。今回の全国大会に出場できたのは、誰か一人のおかげではない。部員全員で勝ち得たものだと思う。全国という、夢にまで見た世界。入場の時から、観客の皆様が暖かい拍手で迎えて下さった。私にはあの拍手は「諦めず、最後までよく頑張ったね」そう聞こえた。

あんなに幸せな10分間、今までに経験した事がないほどだった。城東の歌声を、会場いっぱい響かせ、多くのお客様に感動して頂けた。結果はどうであれ、私たちは一生忘れる事のできない、最高の仲間と最高の思い出を胸に刻む事ができた。ここまでお世話になった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいである。



## 第38回おかあさんコーラス全国大会

8月22日(土)、23日(日)北海道・札幌コンサートホールkitaraで第38回全日本おかあさんコーラス全国大会が開催されました。岡山県代表の「コール・ファミリー」は一日目に演奏され“ひまわり賞”を獲得されました。見事に歌い、踊られ、演奏が終わるとともに万雷の拍手を受けられました。おめでとうございます。

### 「北の空に歌声響かせて」

#### コール・ファミリー

今年の全日本おかあさんコーラス全国大会は8月22日～23日、札幌コンサートホールKitaraで開催されました。この会場は市民の憩いの場、中島公園の中にあり、大ホールは2008席の客席がオープンステージを囲んだ構造で、著名指揮者が最高の音と絶賛しているホールです。この舞台上で歌うとどんな響きになるのかしらとワクワクしながら岡山空港を飛び立ちました。22日朝、私達は中島公園の広場に集合。大森友美子先生、今井麻美先生を囲み団員揃って木々の緑の中に降り注ぐ朝の光の中、清々しい空気を体一杯に深呼吸しながら発声…素敵な時間でした。いよいよ発表の時、「鞠と殿さま」のユーモラスで楽しい曲にのせて、鞠の様に心弾ませて北海道まで飛んで来た私達の気持

ちを手作りの衣装と振り付けと共に表現しました。2曲目「今日もひとつ」では誰の心の内にもある心象風景をしっかりと客席の隅々にまで届けたいと歌いながら感じられたのは、柔らかく広がる響きにステージも客席も包み込まれる感覚…初めての感覚でした。舞台から降りたメンバー全員、満面の笑顔で抱き合い充実感に満たされました。コーラスの魔法にかけられた様な幸せな時間をいただき、その上、ひまわり賞もいただくことができました。最後になりましたが、この様な素晴らしい機会を下さった合唱連盟の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



### CONCERT INFORMATION (1)

#### 夕なぎコーラス 第25回チャリティー クリスマスコンサート

と き 12月12日(土) 14:00 開演  
ところ 玉野市文化会館(パウハウス)  
曲 目 ベルゴレージ/スターバト・マーテル  
木下牧子作品集、岩谷時子の訳詩を集めて  
入場料 無料  
お問い合わせ 0863-71-0949 (古賀)

#### 岡山大学グリーンクラブ 第62回定期演奏会

と き 12月20日(日) 18:00 開演  
ところ 岡山シンフォニーホール  
曲 目 石若雅弥/組曲「君死にたまふことなかれ」  
信長高富/曲集「かなしみはあたらしい」  
企画ステージ 他  
入場料 500円  
お問い合わせ 090-7899-0984 (藤井)

#### 合唱団ごぶ 10th Concert

と き 2016年3月13日(日) 14:00 開演  
ところ 総社市民会館  
曲 目 瑞慶覧尚子/混声合唱組曲「約束」から  
信長高富/くちびるに歌を  
メンデルスゾーン/Auf dem See 他  
入場料 500円 (小学生以下無料)  
お問い合わせ 080-3922-6376 (大山)

次回の Tutti 第95号は2月に発行する予定です。  
お気軽に原稿をお寄せ下さい。(1月中にお願いします。)  
【原稿送付先】

〒703-8262 岡山市中区福泊168-7 内田 毅  
FAX : (086)274-2726 / 携帯 : 090-4695-7826  
携帯 mail : [uchida244z@docomo.ne.jp](mailto:uchida244z@docomo.ne.jp)  
PCmail : [utida244@yahoo.co.jp](mailto:utida244@yahoo.co.jp)

写真を載せる場合なるべくサイズの大きい写真をプリント又はデータとして送ってください。

コンサート情報を寄せられた、総社西中・空岡みだけ・ポリティユーンの皆様、発行が演奏会終了後となったため掲載できませんでした。申し訳ありません。次回からは発行月の演奏会でしたら前の号に載せるように原稿をお願いします。

発行月(5,8,11,2月)は守れるよう奮闘しています。(事務局長)

## 【雑感】全国大会を聴いて思うこと

事務局長 内田 毅

私は今年、北海道・札幌から九州・長崎まで旅行しました。7月の男声合唱フェスティバル、8月初旬のこどもコーラスフェスティバル、下旬の全日本おかあさんコーラス全国大会、10月下旬の全日本合唱コンクール全国大会(中学校・高等学校部門)、11月下旬の全日本合唱コンクール全国大会(大学職場一般部門)です。

演奏を聴いて、と言っても私自身、何も専門的なことを勉強していませんから、発声が、ハーモニーが、曲の解釈が云々と一端の審査員ぶって評価を述べることは出来ませんので、感じたままに、そしてそれに関連して日頃私の考えていることを書いてみたいと思います。

演奏を聴いていて思うことは、どの団もパートの声が一つにまとまっていること。さすがに全国大会に出る団でパートの声がまとまらないということは有り得ません。例えパートが20人、30人であっても一つになります。

振り返って私たちはどうでしょう。4人、5人のパートがまとまらなくて皆の声が聴き分けられる状態ではないでしょうか。この状態を脱するには何が必要なのでしょう。

私は一にも二にも発声法の統一だと思っています。AさんとBさんが二人で声を合わすとしましょう。Aさんが頭声で、Bさんは地声で歌ったとき、音程は違ってないとしてもハモっているとは感じないでしょう。Bさんはノビノビと歌えてもAさんには何と歌いにくいことでしょうか。つまり、パートの全員が同じ発声法を理解し、同じ方向性を持った声を出す。その発声法を団全体に広げて繰り返し練習していくということが大切だと思うのです。

合唱連盟では毎年5月に声楽家の先生をお招きして春期合唱講習会を開催しています。平成10年ごろから平成23年まで大志万明子先生に、その後は河合孝夫先生に発声法の講習をお願いしました。発声法を教えていただける先生は色々居られるわけですが、同じ先生に長期にわたってお願いしているのにはそれなりの理由があるのです。それは、発声法というもの一度習ったからと言ってすぐ身につくものではないからです。初めて教えてもらった事を毎回の練習でも実践してみる。その内忘れるか、忘れないまでも少し違った方向に行き始める。一年後、また教えても

らい、軌道修正・再確認をする。これを繰り返して正しい発声法が身につくのではないのでしょうか。同じメソッドを毎年繰り返して教えていただくことで、例えば学生であれば4年間で全団員がそのメソッドを知っていることとなります。そうすると、指揮者が発声について注意すると、全員がそれを理解し、修正することが出来ます。がしかし、現実にはそうなっていません。大学生の場合、新入生の研修の場としか考えていないようですので、2年、3年になると講習を受ける人が少ないようです。上級生がそのメソッドをよく理解実践していて、下級生に教えられるという体制を作らなければ、その団は上達しないと思います。

社会人の場合はほかの問題があるようです。多くの指導者が講習を受けに行くことを勧めないことです。発声講習を受けて、良い発声法を身に付けてくれれば指導者としては練習がやり易くなると思うのですが。しかしここにも問題はあります。それは、団員が勉強してきただけでは団としては上達しないということです。指導者も同じメソッドを心得ていて、通常の練習での反復練習を指導できるかと言うことです。団員だけが良い発声法を心得ていても、練習で指導者がその発声法を認め、全体をそのように導いてくれなければ意味がありません。

こう書いてくると、指導者の責任が大きいということになってきました。指導者の方を責めるつもりはないのですが、体育系でも文化系でも指導者の及ぼす力は大きいと思います。直近ではラグビー日本代表が良い例でしょう。

このところ多くの素晴らしい指揮者が岡山の合唱団を指導に来岡されています。この練習を見させていただくだけでも勉強になりますし、日程次第では直接指導いただくことも可能だと思います。積極的に外の空気を吸い込んでいただければ一度むけるかも知れません。

連盟では、講習会等の技術向上を目指す勉強会に補助金を出す制度を設けようと考えています。あの先生に教えて欲しい、というような希望がありましたらお聞かせください。実現できるよう知恵を出し合いたいと思っています。

以上、書かなくてもよいことを書いたかもしれませんが、事務局長の独り言と読み捨ていただければ結構です。

## 【事務局通信】

今後の事業予定をお知らせします。今までも確定した事業から Tutti に乗せているのですが、問い合わせがたくさんあります。代表者・連絡責任者の方はこの通信欄には必ず目を通すようお願いいたします。

今年度事業で4月の総会でお知らせ出来ない事業

**※臨時総会 2016年1月10日(日) 10:30~12:00 (会場:おかやま西川原プラザ)**

連盟役員の改選年となります。理事長・副理事長を改選して中国支部理事会に備えなければなりません。

また、理事の改選もありますので出席方、よろしくお願ひします。

**来年度(2016年度)の県連主催事業の日程をお知らせします。会場も全て確定しました。**

定例総会:4月10日 おかやま西川原プラザ

春期合唱講習会:5月14日(土)高梁会場(高梁市文化交流館)

15日(日)岡山会場(岡山大学 50周年記念ホール) 講師は新しく清水雅彦先生にお願いしました。

第69回岡山県合唱フェスティバル:6月12日(日)岡山シンフォニーホール 講評者は 梅山 登先生、佐々木正利先生

第39回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会:7月3日(日) 岡山市立市民文化ホール

第69回岡山県合唱コンクール:8月7日(日) 倉敷市芸文館

第55回中国合唱コンクール:9月17日(土)、18日(日)岡山シンフォニーホール

カメラータ・ザルツブルク演奏会 11月19日(日) 岡山シンフォニーホール(モーツァルト/ルクイェム)